

2025年度 Q Cサークル山形・秋田地区 方針

作成日：2025/2/21

【QCサークル本部 年度方針】

- 1.リーダー(管理者、監督者、サークルリーダー)は、その役割責任を意識しチームメンバーを成長に導く！
- 2.推進事務局は、全社一丸となったスピード感あふれる改善活動の活性化のために新しい施策を企画する！
- 3.地域の企業・組織との連携を図り"仲間"を増やそう！

【QCサークル東北支部 スローガン】

QCサークル活動（小集団改善活動）を通して
活動方法を柔軟に多様化し活性化に繋げよう！

【QCサークル山形・秋田地区 スローガン】

Q Cサークル活動(小集団改善活動)を活性化させ、地域の仲間を増やそう！

【QCサークル東北支部 年度方針、重点活動】

【東北支部 基本方針】

1. QCサークル活動を通じ組織の強化を図り、スピード感を持って改善活動の活性化を図る！
2. QCサークル活動の基本に立ち返り！人間力、仕事力のレベルUPを図り、会社貢献する。
3. 産・学・官連携体制で地域の企業・団体に貢献し、仲間を増やす活動を推進する！

【東北支部重点実施項目】

- 1.環境変化に応じた支部・地区活動の運営を賛助会員を巻き込んでの活性化と効率化推進
(1)運営の創意工夫（*情報交換システム活用や支部規定の見直しなど）で、役員・幹事(事務局)と賛助会員事務局との連携強化と業務負荷軽減を図る。
(2)行事運営や研修会等をチーム東北として、各地区の特色を生かしながら地区間の相互支援、交流会、企業間交流を図るとともに、各地区レベルのバラツキをなくす。
*情報交換システム：2019年度本部導入システム。本部、支部、地区内の限られた方のみ使用可能
- 2.地域に密着し企業・団体に貢献できる活動の推進
(1)第三次産業と中小規模企業へサークル活動の普及拡大・活発化に向けた取り組みを行う。
(2)本部と連携し、産・学・官への積極的な働き掛けにより支部・地区普及・拡大、活動への参加促進の取り組みを行い、仲間を増やす活動を推進する。
- 3.支部幹事、各社推進事務局の更なるスキルアップ
(1)日科技連の資料を活用し、支部・地区主催の幹事研修会等の実施により、幹事の自己成長と社内改善活動の活性化に繋げ、組織への貢献に役立てる。
(2)役員・幹事・事務局各自が積極的な情報交換、交流会・企業訪問等により活動しやすい、参加しやすい場を支部、地区の枠にこだわらず提供していく。(支部内の情報交換会を積極開催)

【QCサークル山形・秋田地区 年度方針、重点活動】

【山形・秋田地区 基本方針】

1. Q Cサークル活動(小集団改善活動) P Rによる賛助会員拡大推進
2. Q Cサークル活動(小集団改善活動)活性化に向けた情報提供・共有機会の増大
3. 地域に密着し産・学・官への働き掛けによる企業・団体に貢献できる活動の推進

【山形・秋田地区重点実施項目】

1. Q Cサークル活動(小集団改善活動) P Rによる賛助会員拡大推進
(1)地域の企業・組織との連携を図り、一般企業・団体が行事に参加しやすい場の提供
(2)地区役員が企業訪問しQCサークル活動内容PR
2. Q Cサークル活動(小集団改善活動)活性化に向けた情報提供・共有機会の増大
(1)役員・幹事・事務局各自が積極的な情報交換、賛助会員交流会の開催
(2)支部と連携し、参加しやすい情報提供の機会の提供(支部内の情報交換会を積極開催)
3. 地域に密着し産・学・官への働き掛けによる企業・団体に貢献できる活動の推進
(1)山形大会への高校生招待に向けた取組みの継続
(2)形式に捉われないに二改善発表会の開催

		賛助会員数	幹事会社数	研修会		大会				体験談推薦件数	
				参加者数	参加企業数	参加者数	参加企業数	件数：JHS	件数：SGH	JHS	SGH
2021年度	実績	31	2	179	23	375	32		9		2
2022年度	実績	31	2	159	22	86(41)	35		9		2
2023年度	実績	30	2	44	13	147(25)	29		11		2
2024年度	目標	35	2	60	15	250	40		12		2
	実績	31	2	52	11	175(25)	36		10		2
2025年度	目標	35	3	60	15	250	40		12		2

*()Web 参加